

# 甲第15号証

報告書

平成25年2月15日

東京都千代田区霞が関1丁目3番1号

経済産業省大臣官房厚生企画室

室長 波留静哉



1. 調査年月日 平成24年4月17日, 4月26日及び5月2日
2. 調査地 訴状別紙物件目録1記載のうち, 同目録2記載の土地部分
3. 調査職員 経済産業省大臣官房個人情報保護室  
個人情報保護1係長 堀口和幸

#### 4. 現地状況

「経産省前テントひろば」のウェブサイト(ブログ)に、「4月17日12時より5月5日正午まで, 経産省前テントにて, 大飯原発再稼働への動きに対する抗議活動として, 集団ハンスト・座り込み行動を行う」旨が記載されていたことを受け, 以下のとおり, ハンストが行われている際に, 当省職員が, 本件各テント周辺の状況を調査し, 写真撮影を行ったところ, 正清太一が, 淵上太郎又は支持者らしき者と共に, 原子力発電所の再稼働等に反対する示威活動を続けていることが確認された。

- ・4月17日12時より, 正清太一, 淵上太郎及び複数の支持者らしき者が, 本件各テント前で, 大飯原発再稼働への動きに対する抗議活動として, 集団ハンスト・座り込み行動を開始する旨の記者会見を実施していた(添付写真①, 経

証

済産業省職員堀口和幸撮影)。本件各テント周辺には、目視で確認したところ  
50～60名程度のテント関係者・反原発抗議活動者が集合し、反原発関係の  
ピラ配り等を実施していた。また、テント周辺では「九条改憲阻止の会」の関  
係者と思われる者が複数確認された。

- ・ 4月26日10時30分頃には、正清太一、瀧上太郎及び複数の支持者らしき  
者が、チェルノブイリ原発事故から26周年となることにあわせて、原発再稼  
働反対等に関する記者会見を本件各テント前で実施していた(添付写真②、経  
済産業省職員堀口和幸撮影)。本件各テント周辺には、目視で確認したところ、  
外国人数名を含む10名程度の反原発抗議活動者とみられる者が集まり、会見  
を聴取していた。
- ・ 5月2日10時頃から、正清太一、瀧上太郎複数の支持者らしき者が、瀬戸内  
寂聴(僧侶・作家)を招いて、原発再稼働反対等に関する会見を本件各テント  
前で実施していた(添付写真③、経済産業省職員堀口和幸撮影)。本件各テン  
ト周辺には、反原発抗議活動者と見られる者が集まり、会見を聴取していた。

能から守れ  
動を許すな！  
発を魔炉に  
者を切り捨てるな！

ら6千人

子どもた

民  
全国

脱原発テント

大飯原発再稼働ヤメロ！  
おお い  
(第一次) 集団ハンスト行動

4.17



子供を放射能から守れ  
原発の再稼働を許すな！  
すへての原発を廃炉に！  
福島と周辺の被害を切り捨てるな！

脱原発

大飯原発再稼働ヤメロ！  
（第一次）集団ハンスト行

ハンスト  
決行中！

ハンスト  
決行中！

[PRESS RELEASE]  
[Stop the Start of 10/21]  
Hunger Strike is now  
in operation by people  
all over Japan.

13万6  
福島のフ

希望の  
実現は

子供を放射能から守れ  
原発の再稼働を許すな！  
すべてのも原発を廃炉に！  
福島と周辺の被害者を切り捨てるな！

脱原発  
（第一次）集団ハ

